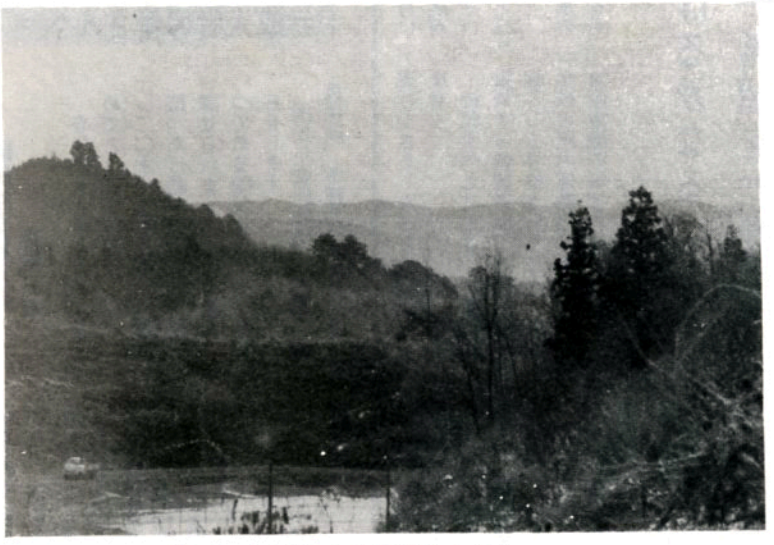
広報
さめがわ
昭和51年
1月号
No. 265
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町佐藤印刷所

元旦展望

山なみの片頬にしろきまだら雪また来ぬ年も豊かなるべし

木々の肌うるおい増してふくらみぬ春待つ生命いま動かむとする

曙峯



（写真、大塩観音山と阿武隈の山並み）

- ⊙ 1月6日 消防出初式
- ⊙ 1月15日 鮫川村成人式
- ⊙ 第3日曜日は『家庭の日』

今月の人口
（12月27日 現在）

人口	5,994	(−13)
男	3,009	(− 2)
女	2,985	(−11)
世帯	1,170	(− 3)

村税完納に感謝

完納で明るい我が村我が郷土

昭和五〇年度も、新年に引続き一二月二六日に「全村完納」の輝かしい実績をおさめ、継続一九年全村完納の金字塔をうちたてることができました。

不況の折柄納税者皆様のご熱心なご協力に深く感謝致します。

村政の歩み

（9）

激動の歴史を綴る昭和の年代も半世紀を超え、ここに昭和五一年を迎えることになりました。

不況インフレの波は未だやまず幾次かの景気対策も適確な効果をあげるに至らないまま年を越したわけであります。

しかしともかくも平和といえる国情の中で新しい年を迎え、はるかなる希望をかかげて、よき年を祈念できることは幸といわなければなりません。

今年もまた皆様のうえに幸のより多き年でありますことを心からお祈りいたします。

さて昨年の夏は三十二年ぶりという猛暑に見舞われ、しのぎ難い気象であったとはいい、山間高冷のわが村では稲作に好結果をもたらし、政府米の予約数量は初め二、九九一俵、一一月になって三、三六七俵の追加申込があり、合せて三三、二七八俵という史上空前の豊作となったことは大きなよろこびでありました。

一般経済界の動向は一昨年来の恐慌が根強く後遺性的な症状をあらわし、延いては地方財政の硬直化が一段とその度合いを深めました。

このような情勢下にあって、わが村は皆様ご協力のもと、計画しました諸般の施策は概ね滞りなく遂行できましたことは感謝にたえません。

特記すべきことは、村を南北に縦貫する幹線道路が国道三四九号線として昇格されたこと、鮫川小学校の屋内運動場や水泳プールが財政危機の叫ばれる中で堂々完成したこと、県道村道の改良ほ装事業がこれまでになく延長したこと農道林道の開設などを含めて、国の過疎対策、辺地対策をたくみに導入して消化進行していることであります。



はるかなる希望をかかげて

村長　石田卯子八

昭和五一年は、景気浮揚の対策が強く打出される年であります。沈滞低迷の霧を一掃して、新しい夢と希望に向って躍進の途を歩みたいものです。

わが村にとっては、第二次山村振興計画の第一年度実施の年であり、また第二次林業構造改善計画の初年度実施の年でもあります。

碧い空、みどりの山、清らかな水に恵まれた郷土鮫川村、われわれが遠い祖先からこれをうけつぎ遠い未来の子孫にこれを引渡すべきふるさとを、より住みよく、より美しく、より豊かな村とするために、この二つの振興計画は村民皆様の共同の努力によって実現されるものであることを確めつつ、最善の努力を誓いたいと思います。

＝成人者の皆さんへ＝

国民年金加入のお知らせ

今年成人式を迎えたみなさんめでとうございます。

二〇才になりますと、責任を持った行動が認められ、義務が課せられます。そこで義務の一つである国民年金についてお知らせします。

国民年金保険は、厚生年金、船員保険、各種共済組合保険などの年金制度に加入していない人のためにつくられた制度です。従って、農林業、中小企業、サービス業等の自営業者やその家族の方が加入する保険制度です。

加入資格は満二〇才になった方で、他の年金制度に加入していない方は必ず加入することが義務づけされているので、加入手続きについては、役場住民課福祉年金係が担当していますから印かん持参の上申出て下さい。

なお、既に厚生年金保険や共済組合保険等に加入している方で、職場を退職した場合は、すぐに国民年金保険に切り替える手続きをとって下さい。

又厚生年金等に加入したときは国民年金の資格喪失届を出して頂くことになります。そのまゝにしておくと将来六〇才に達しても何の年金も受給出来なくなります。

国民年金、厚生年金、共済組合保険等の期間は通算されることになっていますから二五年以上の保険料納付済期間があれば、通算老令年金として将来年金が受給できます。

おめでた

十二月（二五日現在）

旗門場　高坂　幸恵　父高坂栄一
石井　中川西清二父中川西一男
福原　芳賀　真一　父芳賀利弘
塩倉　矢吹　智広　父矢吹賢市
中沢　円谷　恵　父円谷鶴男
青生野　土手内智子父土手内利雄

おくやみ

十二月　年令　世帯主
道少田　矢吹光四郎78矢吹　トヨ
西野沢　小宅　芳昭40小宅ハツエ
中　鈴木　キヱ91鈴木　好美
広畑　窪木ハツヨ62窪木　義信



村民のナマの声を直接知事さんに聞いてもらい、これを県政に反映させることを目標に、12月19日木村知事を囲む県政懇談会が村公民館で開かれました。



この日の参会者は、地元県議、県出先機関長を含め２００名あまり、石田村長の司会でなごやかな懇談が進められ、知事さんから懇切な答弁がありました。



当日質疑に立ったのは岡部実さん、森芳子さん、斉藤正光さん、鈴木嘉上さん芳賀貞子さん、松本君子さん、鈴木重隆さん、鈴木孝雄さん、白坂真平さんその他で、村や地域の切実な問題を提示されました。

年頭の挨拶
第二期山村振興計画に期待



議長　大楽勝男

昭和五一年の年頭にあたり鮫川村議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。村民のみなさん明けましておめでとうございます。希望の新春を迎えみなさまのご多幸をお祈り申し上げます。

私は昨年の地方統一選挙後初議会において再度議長の要職につきその重責を痛感し決意を新たに、その後微力ではありますが円滑な議会の運営と村政の伸展のため、誠心誠意懸命の努力を続けております。

おかげで大過なく越年することが出来ました。これひとえに村民みなさまのご支援とご協力のたまものであり心から感謝申し上げる次第でございます。

顧りみますと過去五年間山村振興法に基づく本村第一期山振計画事業実施の年次に、幸い議席を得て、生活環境の整備、産業基盤の整備事業等村民みなさまの要望に応えて設定された事業は、概ね完成されたものと考えております。その間石油危機による我が国の経済はめまぐるしい変動を続け、ついには総需要の抑制政策によって大きな制約を余儀なくされながらも時代と共に多種多様化するみなさまの要望に応えて、住民福祉の問題、教育施設の問題等は他にさきがけて施行され、地域生活圏の整備につきましてもあらゆる事業を導入して村道林、農作業道の改良整備の促進を図っております。

更に昭和五〇年度第二期山村振興の指定が決定し、今年は計画設定の年であります。

私達議会においては、多年の念願である「住民生活の安定は産業の振興にあり」産業の振興を計るためには全村にわたる生産基盤の整備がなさるべきであることを力説して参っております。それには農家個々の強力な要請に応えることは勿論でありますが、村行政、経済団体、土地改良区、議会が一体となって啓蒙し徹底を図り乍ら第二期計画が樹立されることを願って止みません。

国民食糧自給体制確立が今後の農政の課題であると言われて来た今日。本事業が円滑に推進され、営農指導体制の強化をはかりながら、阿武隈山麓の圃場に若い世代が就労するときこそ、本村の過疎が解決されるでありましょう。

県議長会においても本事業の推進を大きくとりあげ、国県に対し補助率の引上げと共に枠の拡大を強く要望し、陳情を続けております。

今後村民みなさまの絶大なるご協力を得て、私達が真の福祉が確保される秋の早期実現に期待いたしまして新年のごあいさつといたします。

書きぞめ展作品募集！

昨年は村内の小中学校の児童生徒を対象に、第一回の書きぞめ展を村公民館主催で開催しましたが今年はこれに「一般の部」を設けて実施いたします。新年の書きぞめ作品（毛筆作品）をつぎにより募集しますので、多数ご応募して下さい。

記

(一)募集期間　昭和51年1月16日から1月20日まで
(二)提出場所　鮫川村公民館
(三)書　題
イ課題作品の部
「阿武隈の春」
ロ自由作品の部
自由とする。
(四)用　紙
書体はいずれも自由とします。
(五)対象者
村内居住の一五才以上の方（高校生を含む）
(六)表　彰
金賞（一）、銀賞（二）、銅賞（四）、入選（八）の賞状をおくります。

なお、作品は昭和51年1月23日から1月31日まで、「小中学校の部」、「一般の部」共に、村公民館に展示し公開しますので、ご観覧下さい。

村長を囲んで
商工青年大いに語る
一日も早い完成を!!
村の総合施設
開発センター

将来の商工業発展を真剣に考えている商工青年部の皆さんは、一二月一二日、石田村長をかこんで明日の村政や商工業の将来について、隔意のない懇談を行いました。



白坂青年部長　私が司会役をつとめます。年末の大変忙しい折、村長さんには貴重な時間をさいてご出席頂き誠にありがとうございます。会員の皆さんには日頃のご意見や要望など活発な発言をお願いします。

山村開発センターや青少年の家に希望を託したい

須藤㈱　鮫川村は、第二期山村振興の指定を受け、大形の予算と計画のもとに、進められると聞きますが、その内容をお聞かせ下さい。また、この計画の中にある山村開発センターや、青少年の家等の施設には是非若い青年男女の憩いの場を折り込んだ計画をお願いしたいものです。



村長　今度の第二期振興山村の指定は、県内で鮫川村を含めた六ケ村がその選に入りました。

山村振興の事業の計画は、村が独自に立てるものではなく、知事がこれを定めて、内閣総理大臣の承認を受ける仕組みになっています。それで現在は村から県に各種の事業を要望している段階です。その概要を申し上げると、

①交通通信の対策では、道路の改良舗装を重点的に進めたい。

②産業基盤の整備では、村の基幹産業は何といっても農林業であるから、その基盤を整備するため、まず農道、林道の開設整備と、特に圃場整備を促進する。

③文教施策では、児童数の少ないごく小規模な学校の統合や中心校の充実を進めたい。また、教員住宅の建築、スクールバスの更新なども逐次行って行きたい。

④社会生活の環境施策としては、

★診療施設の充実を図り、歯科診療を新しく開始する。

★保育所の増設を図る。先づ渡瀬に新設することにしたい。

★戸草分校を廃止した後に、青少年の家をつくりたい。これは、青少年の研修の場となり、都会の子供達との交歓の場としても活かして行くことができる。

★消防自動車の更新、防火水そうの増設も計画したい。

★生活改善センターは富田地区に建設を予定することにしたい。

★第二期山村振興計画の目玉商品は「**山村開発センター**」である。

施設の内容は、大集会室、研修室、談話室、健康相談室、宿泊設備、浴室もある総合的な開発センターとしたい。

ここは村民総親和の場であり、憩いの場であり、研修の場であり、後継者育成の場でもある施設としたい。ご要望の年男女の憩いの場としても十分に活用出来るような施設となる。

そのほか、治水、治山事業なども計画に入れる考えである。

このような第二期山村事業は、五一年から実施に入ることになるが、事業費総額は二四億七八〇〇万円と計算され第一期山振事業の約五倍となる見込みです。

須藤　開発センターは冠婚葬祭などにも利用できるような施設でしょうか。

村長　十分利用できます。これができれば他町村まで行って結婚披露宴をやる必要もなくなるでしょう。（笑）



宗田　阿武隈従貫国道の今後の工事見通しと財政的に困難な時期を迎えての県道の舗装の見通しについてはいかがでしょうか。

村長　国道三四九号線は、五〇年三月に認定されたばかりの道路ですから五〇年度には国道としての本格的な予算は付かなかったが、県では特に未改良区間の改良に力を入れ、蕨の草、馬生田、戸草地内の改良、前田地内の舗装、木戸沢橋の永久橋掛替など可成りの事業が行われています。一昨日も福島県、宮城県の関係市町村長で国へ陳情を行うなど積極的に働きかけております。

一方県道の舗装関係では、人家連旦の区域から舗装を進める県の方針であるが、村としては、浅川に通ずる黒田浅川線、棡倉に通ずる棚倉鎌田上三坂線の全線舗装を強く要望している。また赤坂東野塙線も前沼から先が、防じん舗装になっているが、早期に完全舗装にして貰うよう陳情しています。



村長を囲む商工青年座談会

商工会に村助成金の増額をお願いしたい



藤田　村の商工業振興施策と商工会育成のための指導方針についてお聞かせ下さい。また、商工会への村の助成金につきましては、県下平均より下まわり会費の負担は県下平均を上まわっている現状であり、村助成金の増額方ご配慮願います。

村長　鮫川村の産業別就業人口と生産所得は、ここ十数年の間に大きく変化した。昭和三五年に第一

懇談会

出席者　村長　石田卯八子
商工会青年部長　白坂真平・藤田隆千代
商工会館誠二・鈴木一・須藤宏
早川正博・橋本正嗣・湯座良政
須藤泰助・宗田文夫・鈴木優
前商工会長　田喜正
柿沼指導員・青戸補助員

次産業である農林業従事者は全就業人口の八三・七%であったが、昭和四九年には五八・八%に下り第二、第三次産業が四一・二%に増加した。

生産所得推計でも、昭和四八年には第一次産業が五七・七%となり、第二、第三次産業は四二・二%にのし上ってきました。

しかし、角度をかえてこれを税負担の面からみると、商工業の村民税所得割納入者は七%にすぎず法人税もまだ微々たるものです。

これらのことから総合的にいえば、わが村の商工業は就業人口のシェアが大いに増加したことは心強いが、まだ成長途上であって、これからが盛んになる未来をもっているといえます。それだけにまた大事な時期であって、商工会の任務も重大であるといわなければなりません。これからの振興のためには、企業意識を高めること、自力を蓄えること、人材後継者を育てること、将来の商品を開発することなどがあげられると思う。殊に金融対策については、不況下の現在、国、県の施策と結びつきを強化し、制度資金の利用、信用保証制度などどんどん利用すべきでしょう。来年度の補助金についてはまだなんともいえないが、以上のような観点から商工会の活動を一層強化促進するよう努めたいと考えています。

藤田　この際指導員の基本的な考え方をお聞かせ願いたいと思いますが。



柿沼指導員　現在主に経営面、金融面の業務を行っていますが今後は企業体での労使間の問題等、さらには観光対策面での事業もあり、今後村の指導を仰ぎ乍ら商工会発展のために努力する考えです。



村のシンボル 花・木・鳥はないか

湯座　村のシンボル的な花木、観光等を設定し、村をあげて進める計画はないでしょうか。これは昨年のこの座談会でも話しになりましたが、試案に終ってしまった感じですが、もっと具体的に、そして強力に進めるような方法をお持ちでしたらお聞かせ下さい。

村長　村のシンボルとなる花として〝山ゆり〟〝高原の村のシンボル〟〝白樺〟など昨年皆さんとの話し合いは広報紙上にも載せたが、直接の反応がなかったことは、あまり一般には関心がないのではないかと思います。それでこれは、審議会などで十分審議し、衆知を集めて選定する必要があるように思います。

湯座　開発センターが完成したらそのまわりに山ゆりや白樺などを植えるなどして、村民の関心を高めるなどの方法はどうでしょうか

村長　よいアイデアです。具体的な方法は、まだ研究の余地がありそうです。

村の工事には 地元の業者を！



鈴木(一)　村内には土木や建築業者が数多くおりますし、村の土木、建築工事の入札参加や村外業者が行う工事でも、下請とか人夫の使用などについては、商工会を通じて行うなどのご配慮をいただきたいと思いますが。

村長　是非そうしたい考えで、実行できるものから実行に移しています。入札の場合は、それぞれの実力にかなった段階の入札に参加して貰うことが必要で、現在でも村の業者の一部の方には参加していただいております。ただ大きな工事になると知事の許可も必要であり、村内業者の場合、まず組織づくりが必要で、法人格をとり、資本装備を高め、力を貯えて一千万、二千万の入札にも参加できるような体制を整えてほしいと思っています。

村商工業振興資金の 金利引下げ 貸付金額の増額 貸付期間の延長 などの改正を望む



橋本　村の商工業振興資金は、制度資金より利子も高く、保証人、担保等の点で利用者が少ない現状なので、制度資金並みの金利、さらには、貸付期間の延長、貸付金額の増額などについてご検討を願います。

村長　制度資金の場合は、貸付決定までに相当の日数を要するので手近かな村の振興資金を利用して貰うのが便利と思う。貸付の諸条件については銀行側と話し合いの上、十分検討したい。

村内の道路添えに 史蹟、文化財等の 表示をしてはどうか



鈴木優　村内の官公庁、工場、観光、史蹟、文化財等の所在を示す標示板や案内板を道路添えに表示し、村民にわかりやすいように知らせてはどうか、村の計画をお聞かせ下さい。

村長　主として史蹟、文化財関係は、教育委員会でそれぞれ現場に表示板を設置する方法で実行しています。ただ工場等の表示は工場自体が行うべきであるが、村が表示すべきものも、もっと大きくわかり易くしたいものだと思っています。

須藤弘　開発センター完成後の文化センターの利用はどうなりますか。

村長　開発センターには、スポーツの施設は無理なので、文化センター跡の利用については、武道館（体育施設）などはどうかと思っています。

白坂部長　これで本日の予定を全部終了しましたので終りといたします。村長さんにはお忙しい中大変参考になるご意見などをお聞かせいただきましてありがとうございました。

昭和五一年度新入学児童

昭和五一年四月、小学校に入学するお子さんは昭和四四年四月二日から昭和四五年四月一日までに生まれたお子さんたちです。

五〇年一二月一日現在の調べでは八〇名で昨年の新入学児童より一名少なくなっています。

入学予定のお子さんは次のとおりですが、名前がちがっていたりもれていましたら一月末日まで教育委員会に申し出て下さい。（電話四二番）

◎青生野小学校

児童名（保護者名）

岡部司代（勝正）、藤田憲一（茂）、二瓶禎子（洋一）、生田目次男（勝利）、吉成光子（義郎）

（男二名、女三名計五名）

◎渡瀬小学校

中島一則（国夫）、赤坂和枝（貞男）、蛭田郁夫（昌一）、藤田紀美江（文雄）、藤田あゆみ（ミツ子）、小松みつ子（幸一）、星正和（栄）、近藤仁子（陸男）

（男三名、女五名計八名）

◎富田小学校

円谷利之（鶴男）、生田目薫（定之助）、西戸明美（民彦）、青戸寿之（孝夫）、鷲野谷博志（武志）、松本崇（恵治）、松本正和（寿郎）、鷲野谷勤（弘行）、鷲野谷博則（勝男）、国島教光（義磨）、松本健（一治）、添田美和子（剛弘）

（男九名、女三名計一二名）

（男五名、女七名計一二名）

◎鮫川小学校

国島武人（武士）、鈴木順子（和光）、小松隆（誠二）、湯座泉（清）、橋本洋子（正嗣）、湯座則彦（克昌）、湯座美知男（武）、湯座紀子（和弥）、円井末子（幸男）、大楽尚弘（勝弘）、金沢悦子（利雄）、矢吹さおり（堅寿）、矢吹好明（勝治）、鈴木正展（勝正）、鈴木英雄（輝司）、鈴木隆寛（寛重）、蛭田忠雄（彦忠）、水野哲夫（博和）、松本健一（啓助）、古舘千恵美（誠二）、鈴木久美子（作衛）、田子進市（一夫）、中川西真由美（春美）、蛭田マチ子（四一）、蛭田未夫（一二）、簗木良秋（正昭）、前田喜美枝（正喜）、前田静穂（三郎）、中川西功子（修身）、中川西りつ子（一男）、高杉宏幸（晃）

（男一六名、女一五名計三一名

◎西野小学校

石井正彦（好美）、北条文男（正敏）、高坂香（盛栄）、増谷みちこ（猛）、佐藤利雄（秀雄）、佐藤春江（一男）、星幸男（宗一）、舟木正博（春吉）、舟木富子（寿郎）

（男五名、女四名計九名）

◎西山小学校

水野民男（茂男）、関根静子（功男）、松本由美子（定吉）、坂本真由美（忠雄）、松崎安典（義一）、松崎夏枝（健一）、水野玲子（正）、大竹洋美（洋喜）、関根孝雄（孝之助）、関根友明（乙夫）、関根隆（乙夫）、柳沼貴子（トミ子）

◎東野分校

森義剛（義美）、佐久間えり子（栄一）、湯座直美（孝友）

男一名、女二名計三名）

私の見たヨーロッパ

森　洋

(2)ベルリン

アンカレッジから約一一時間。

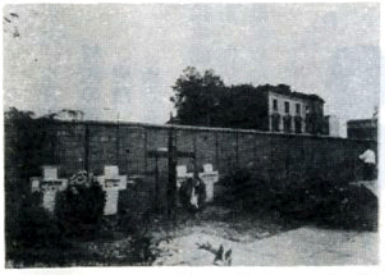
西ドイツの港町ハンブルグ、フランクフルトを経て、第二次世界大戦での悲劇の町西ベルリンのテーゲル空港に着いたのは、九月八日の午前一一時半でした。

空から見たベルリンはどっしりとした建物が立ち並び、戦火で八〇%も破壊されたとは思えないような町並を見せておりました。

ごぞんじのようにベルリンは戦後、占領国によって東西に分断され、東ベルリンはソビエトの管理下にあり、社会主義国東ドイツの首都となり、また西ベルリンは米英、仏の共同管理下にあり、三ケ国の軍隊が駐留していますが、資本主義国西ドイツの一つの州という形をとっております。またこの西ベルリンは東ドイツの真ん中にあり、海に浮ぶ孤島のような形になっております。

私たちは、西ベルリン市庁の表敬訪問をはじめとして、東西ベルリンの市内見学など二日間の滞在でしたが、なんといっても鮮列な印象を受けたのはベルリンの壁であります。今まで朝夕のあいさつを交していた筋向いの人、そして親兄弟とも政治形態の違いにより一九六一年八月一三日、延々四五キロメートルの壁の出現により、行き来ができなくなったのです。不法に壁を越えようものなら、東ドイツ軍により銃殺されるということで西ベルリン側の壁の近くには白い十字架が点々とあり、多くの悲劇を物語っているようでした。

現在では西ベルリン市民が年に三〇日間は東の肉親を訪問でき、東ベルリンからは六五才以上の老人と、身体障害者は西に来れるようになったということです。



（ベルリンの壁と十字架）
銃殺者の

新春の火災予防

新年明けましておめでとうございます。昨年中は火災予防についてご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

厳寒のこの季節ですが、正月気分が抜け切れず火気の取り扱いに気のゆるみはありませんか。どうぞ本年も「幸せを明日につなぐ火の始末」火の元、火の取扱いには十分注意して下さい。

一、暖房器具は使用目的以外の用途に使用しないよう。

一、ガス器具はガス漏れ等に注意し使用後寝る前には元栓を締めましょう。

（消防鮫川出張所）